

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講師 岩手医科大学 歯学部 補綴・インプラント学講座
教授 近藤 尚知 先生

2. 演題 Digital dentistry の臨床応用の現状と限界

Current status and limitation of clinical application of digital dentistry

3. 日時 2018年10月18日(木)17:00~18:00

4. 場所 7号館【歯学部校舎棟】2階 第2講義室

5. 抄録

チタンおよびジルコニアセラミックスの加工などの技工操作は、CAD/CAMをはじめとするデジタル技術が、すでに広く臨床応用され、なくてはならないものとなりつつある。さらに近年は、口腔内スキャナーの臨床応用が現実的なものとなり、補綴装置の製作に大きな変革の時代が来たと感じられる。すなわち、補綴装置製作のための新しいデジタルワークフローが確立されつつある。しかしながら、最新のデジタル機器を応用した診断や治療の精度については、印象材を用いる従来法と比較した報告は少なく、未だ不明な点も多い。そして、口腔内スキャナーの印象精度はいかほどか、従来法との差異はあるのか、多数歯欠損にも適用可能か、という疑問は誰しもがいただくところである。本講演では、近年急速に普及しつつあるデジタル技術、とりわけ口腔内スキャナーの臨床応用に、どのようなメリットがあり、どのような課題が提起されているのかを現状に即して説明する予定である。

連絡先: 三浦 宏之(岡田 大蔵)(摂食機能保存学分野 内線5521)